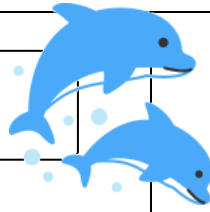


## 気管支喘息について No3



## 話題の新薬 スー ज्याヌ配合錠

### 2型糖尿病治療薬

#### 喘息の検査

検査はいくつかの種類があり、症状や年齢、目的にあわせて、ひとつまたは複数の検査を行います

#### ① 呼吸機能検査(スパイロメトリー)

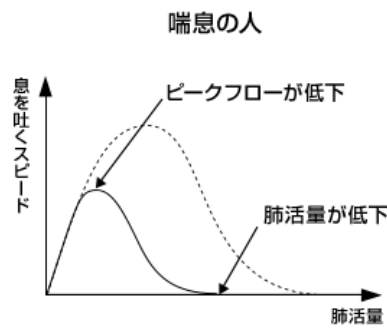
スパイロメーターという機械を使い呼吸機能を調べる喘息の基本的な検査です。まず息を思いきり吸い込み、次に力いっぱい吐きます。息を思いきり吸った時の肺活量(努力性肺活量)、吐き始めてから吐き終わるまでの時間、吐くスピードを、機械が測定します

#### フローボリューム曲線

努力性肺活量をグラフにすると図のような曲線が得られます

力いっぱい息を吐き出した時の息の強さの最大値のことを「ピークフロー」といい、この値が喘息管理に役立ちます

ピークフローは、ピークフローメーターという機械を用いて自宅で簡単に測定できます。



#### ② 気道過敏性試験

重症な人ほど気道過敏性が高く、治療すると低くなります

#### ③ 血液検査

どのアレルギーに対してアレルギー反応がおこりやすいかを確認する検査です

#### ④ 皮膚反応テスト

疑いのあるアレルギーエキスを皮膚につけて反応をみます

#### ⑤ 胸部レントゲン検査

喘息と同じような症状を持つ他の呼吸器疾患との判別や、肺炎などの合併症を知るために行います

#### ⑥ その他の検査

必要に応じて、心電図検査や心エコー検査、胸部CT検査、気管支検査などを行います

アステラス製薬は、DPP-4阻害薬とSGLT2阻害薬の配合剤「スー ज्याヌ配合錠」を発売した。DPP-4阻害薬であるシタグリプチンは、DPP-4を阻害することで、インクレチンのDPP-4による分解を抑制し、活性型インクレチン濃度を上昇させる。その結果、血糖依存的にインスリン分泌促進作用並びにグルカゴン濃度低下作用を増強し血糖コントロールを改善。一方、SGLT2阻害薬であるイプラグリフロジンは、SGLT2阻害作用により、腎近位尿細管でのグルコース再吸収を抑制し、血液中の過剰なグルコースを体外に排出することで血糖値を低下させ、2型糖尿病における血糖コントロールを改善する。

薬価 1錠=263.8円



## 副作用情報 グラン注射液

協和発酵キリンから販売されているG-CSF製剤の「グラン注射液」は、直近2年11か月の副作用報告であって、因果関係が否定できない副作用として、「大型血管炎関連症例」が2例(うち死亡0例)報告された。そのため重大な副作用の項に「大型血管炎」が追記された。

## 遺伝性乳癌、乳房予防切除を

遺伝性の乳癌について、乳癌学会は、癌になっていない乳房を癌予防のために切除することを「強く推奨する」と、学会の診療指針を改訂すると発表した。現在の指針では、遺伝性乳癌の場合、癌を発症していない側の乳房の予防切除は、「検討してもよい」とどまっている。3年ぶりに改訂される指針では、遺伝性の乳癌と確認された場合、患者本人が希望し、カウンセリングの体制が整っていることなどを条件に、乳房予防切除を「強く推奨する」に引き上げる。癌になっていない側の乳房を予防的に切除すると、がんの発症リスクが下がったり、生存率が上がったりすることが判明したため

